



こっちへ投げて～(八幡神社)

福は内、福は内(2月3日)

節分の3日、市内各地で豆まきが行われました。

八幡神社では、氏子らで組織する大館八幡会(金澤宏会長)主催で毎年行われ、今年で35回目。数え年で42歳となる年男や会員などが、かみしも姿になり、集まった八幡幼稚園の園児や住民らに威勢良く豆をまきました。

神事で鬼を追い払った福豆をまくことから、「鬼は外」の掛け声は無く、「福は内」だけ。次々と放り投げられる豆を園児らは夢中で拾い、両手いっぱい縁起の良い豆を持って喜んでいました。

雪中田植えで豊作を祈願(2月11日)



今年も豊作になるように

比内町中野の高齢者センターで地域に伝わる小正月行事「雪中田植え」が行われました。菅笠に「みの」を着用した立石一さんと阿部調一郎さんが、しめ縄を張った雪の田んぼに、稲わらと豆殻を植え豊作を祈願しました。

下川沿地区で雪上レクリエーション(2月7日)



誰の長靴が一番飛んだ?(長靴飛ばし)

下川沿地区で雪上レクリエーションが行われ、子供たちや保護者ら80人が多彩なゲームを楽しみました。

同地区の公民館とスポーツ振興会の主催で毎年行われ、子供たちや保護者ら80人が参加。会場の下川沿中学校グラウンドでは、タイヤチューブ滑りや雪玉入れ、長靴飛ばしが行われ、点数を競う子供たちに周りからは「ガンバレ」の声援や拍手が送られていました。

(2月7日)

大館アメッコ市(2月14・15日)

(2月14・15日)

この日にアメを食べると風邪を引かないと伝えられる冬の風物詩「大館アメッコ市」が開かれ、2日間で10万5千人が訪れました。

今年は市街地にほとんど雪が無く、雨が降るあいにくの天気になりました。主会場の大町中央通りでは、傘を差した大勢の来場者が、色鮮やかなジャンボ枝アメの並木を通ってアメを買い求めていました。

会場では、からめアメのサービスや枝アメ体験コーナーのほか、白髭大神巡行、秋田犬パレードなどが行われ、アメッコ市に花を添えました。

どれを買おうかな



おひなさま展(2月14日)

郷土博物館でおひなさま展が開かれています。会場には市内各所から集まった段飾りのおひなさま十数組と、今年の目玉となる押絵雛など多数飾られ、来場者の目を楽しませていきます。押絵雛は、厚紙に綿を乗せてその上から色鮮やかな布でくるんだ雛人形で、レリーフのような立体感があるのが特徴です。市内のほか、県外からも観光客が訪れ、色鮮やかで繊細に作られたおひなさまを熱心に観賞していました。

ずらりと並んだ押絵雛



たくさんの来場者に囲まれて白髭大神が巡行

